

令和5年度 奈良県立奈良朱雀・奈良商工高等学校学校評価総括表（定時制課程）

【高等学校用】

年度	令和5年度（中期計画2年目）
本校の使命（スクール・ミッション）	少人数での学習を通して、工業や商業の専門分野に関する知識と技能を身に付け、自分の可能性を広げようとする生徒の育成
年度重点目標	新教育課程に対応する教材や観点別による評価の工夫、改善に努め、また、BYODによる一人一台端末を活用した効果的な学習方法について研究、実践し、生徒の興味・関心を高め、意欲的に学習に向かう態度を育成する。

1 スクール・ポリシーの内容

教育方針 (スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。 1 他者への思いやりの心を持ち、多様な仲間とともに学校生活を送りたい生徒 2 日々の授業を大切にし、部活動や生徒会活動、学校行事にも積極的に取り組む意欲のある生徒 3 工業や商業に興味を持ち、自らの進路実現に向けて取り組む意欲のある生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	本校では、確かな学力・豊かな人間性・健やかな心身の育成と多様に変化する社会に主体的に対応し得る能力・意欲・創造性を養うことを教育方針とし、その実現のために以下の教育を行います。 1 生徒の実態に合わせて教材を精選し、基礎学力を定着させ、真剣に学習に取り組む意欲と態度を育てます。 2 工業や商業に関する専門性を高め、実社会で通用する資質・能力の習得を図ります。 3 少人数のメリットを生かし、実習や資格試験ではマンツーマンに近い形で丁寧に指導します。 4 学校行事や生徒会活動を通して、共に成長できる環境づくりに努めます。
	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校では、卒業までに、以下の資質・能力の育成を目指します。 1 多様な他者と協働し、互いに理解し、共に支え合うことを大切に行動できる。 2 社会で必要なルールやマナーを身に付け、地域社会や職場から信頼される。 3 基礎的・基本的な知識や技術を修得し幅広い分野で活躍することができる。 4 自分で課題を見つけ、それを解決し、将来にわたって学び続けることができる。

2 奈良県教育振興基本計画（「奈良の学び推進プラン」）が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標（A）	計画期間における具体的目標（B）	令和5年度末の目標値等（C）	令和5年度末の状況（D）	自己評価（E）	学校関係者評価（F）
1. こころと身体を子どもの成長に合わせてはくむ	基本的な生活習慣の確立	・年間遅刻回数の減少（前年度比－5%） ・進んで挨拶しようとする生徒の割合90%以上	・昨年度の総遅刻回数の－5%減 ・進んで挨拶しようとする生徒の割合85%以上			
	運動に対する意識の向上	・体育の授業に意欲的に取り組む生徒の割合95%以上 ・運動が好きな生徒または定期的な運動習慣のある生徒の割合80%以上	・体育の授業に意欲的に取り組む生徒の割合90%以上 ・運動が好きな生徒または定期的な運動習慣のある生徒の割合70%以上			
	望ましい食習慣の確立	・食生活の大切さを理解している生徒の割合80%以上 ・一日規則正しく3食食べる生徒の割合80%以上	・食生活の大切さを理解している生徒の割合75%以上 ・一日規則正しく3食食べる生徒の割合70%以上			
2. 学ぶ力、考える力、探究する力をはくむ	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	授業で興味・関心が高まると感じている生徒90%以上	授業で興味・関心が高まると感じている生徒85%以上			
	I C Tを活用した教育の推進	・I C Tを活用した授業ができる教員の割合90%以上 ・I C Tを活用して学習できると感じている生徒の割合90%以上	・I C Tを活用した授業ができる教員の割合80%以上 ・I C Tを活用して学習できると感じている生徒の割合80%以上			
	交通安全・防犯・防災教育の推進	年間2回以上講演会や訓練等を実施	講演会や避難訓練を実施する。			
3. 働く意欲と働く力をはくむ	教員の働き方改革	1ヶ月の超過勤務時間45時間以上の職員0人	1ヶ月の超過勤務時間45時間以上の職員0人			
	インターンシップ等の就労体験の充実	インターンシップをはじめ、在学中に就労を体験する生徒の割合80%以上	・在学中に就労を体験する生徒の割合70%以上			
	キャリア教育の推進	キャリアパスポートの活用率の向上	日々の活動による自分の変化や成長を感じている生徒の割合70%以上			
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	進路実現に向けた取組の推進	・進路に関する講演会等を年間3回以上開催 ・学校が進路実現を積極的に支援してくれると感じている生徒の割合95%以上	・進路に対する意識向上、社会人としてのマナー修得に向けた講演等を企画する。 ・学校が進路実現を積極的に支援してくれると感じている生徒の割合90%以上			
	郷土の伝統、文化、自然等に関する学習の推進	「奈良TIME」の学習成果の蓄積	郷土や地域に関する興味関心が高まったと感じている生徒70%以上			
	地域との連携・協働の推進	コミュニティスクールの積極的な運営 地域の幼稚園や保育園等との交流活動等を年間2回以上実施	コミュニティスクールでの意見を学校運営に反映させる。 幼稚園や保育園のニーズを把握し、生徒が主体的に活動できる新たな取組を始める。			
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	地域に貢献する人材の育成	通学路及び学校周辺の清掃活動等を年間3回以上実施	生徒会役員及び有志で各学期に1回、通学路等の清掃活動を実施する。			
	一人一人の個性を認め合う生徒の育成	一人一人の個性を尊重することが大切であると感じている生徒の割合90%以上	一人一人の個性を尊重することが大切であると感じている生徒の割合90%以上			
	学校いじめ防止基本方針に基づく取組の推進	学校は安心して居心地良く過ごせる場所であると感じている生徒の割合90%以上 いじめのアンケート等を年間2回以上実施	・学校は安心して居心地良く過ごせる場所であると感じている生徒の割合85%以上 ・いじめのアンケート等を年間2回以上実施			
	人権教育の推進	「人権教育推進プラン」に沿った取組の推進 人権講演会を年間1回以上、職員研修を年間1回以上開催	人権講演会や職員研修を年1回以上企画する。			
特別支援教育の推進	・支援が必要な生徒の情報共有の機会年3回以上 ・支援が必要な生徒全員の個別の支援計画作成	・支援が必要な生徒の情報共有の機会を作る。 ・支援が必要な生徒全員の個別の支援計画作成				

3 評価結果の分析、今後の改善方策等

--